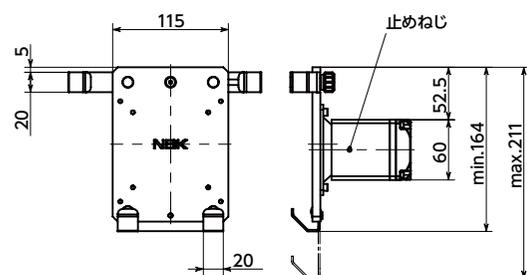
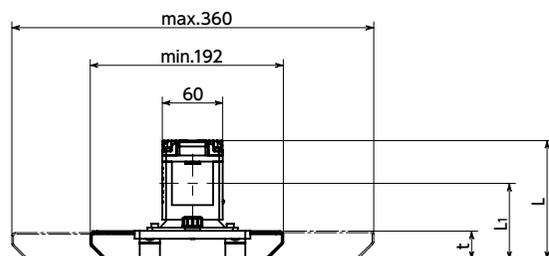
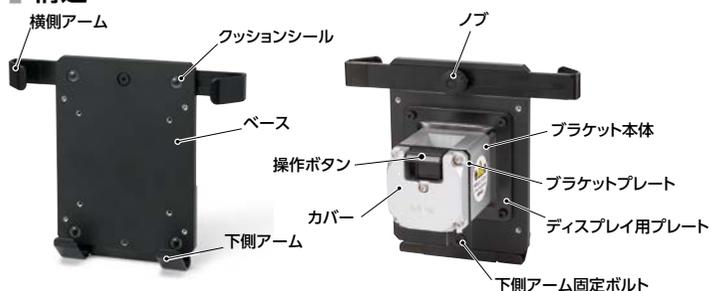


DTAC-AB-A タブレットPCホルダ - クイックポジショニングタイプ - アルミフレーム用 特許出願中

アルミフレーム

構造



● 材質・仕上げ



	DTAC-AB-A
ベース	アルミニウム合金 静電塗装
横側アーム	SPHC 静電塗装
下側アーム	ナイロンコーティング (先端部のみ)
ノブ	ナイロン6
ノブねじ部	S45C 三価クロメート処理
下側アーム固定ボルト	SCM435 四三酸化鉄皮膜
フッショシール	ポリウレタン
ディスプレイ用プレート	SPHC 静電塗装
プラケット本体	A6063 アルマイト処理
カバー	アルミダイカスト 静電塗装 (メタリックシルバー)
プラケットプレート	ポリアセタール (黒)
操作ボタン	ポリアセタール (黒)
止めねじ	PC (ポリカーボネート) (透明)

単位: mm

品番	対応タブレットPC*1			L1	L	t	最大搭載質量 (kg)	質量 (g)
	厚さ min./max.	幅 min./max.	高さ min.					
DTAC-13-330-AB-30-BK-A	6 / 13	190 / 330	155	71	110	28	5	1149
DTAC-13-330-AB-40-BK-A	6 / 13	190 / 330	155	76	120	28	5	1121
DTAC-20-330-AB-30-BK-A	13 / 20	190 / 330	155	78	117	35	5	1157
DTAC-20-330-AB-40-BK-A	13 / 20	190 / 330	155	83	127	35	5	1129

*1: タブレットPCの機種によっては固定できないことがあります。

- 垂直軸のアルミフレーム・角シャフトにタブレットPCを取り付けるためのホルダです。
- アルミフレーム・角シャフトへの取り付けは、手軽に位置決めができる **CUAB-A** を使用。
- アルミフレーム・角シャフトの端面・側面のどちらからでも取り付けが可能です。
- 操作ボタンを押すとロックが解除され、ブラケットの上下方向へスムーズな移動ができ、操作ボタンを離れた位置で保持されます。
- 上方向へは操作ボタンを押さなくても、力を加えることで移動できます。
- 止めねじのねじ込みを調整することで、アルミフレーム・角シャフトとのがたつきを低減させることができます。



- 最大5kgまで搭載できます。
- 横側アーム・下側アームを調整することで、9 - 12インチ*1のタブレットPCを取り付けることができます。
*1: 9インチと10インチのタブレットPCは横置きのみ対応可能です。
- 取り付けるタブレットPCの厚さから品番を選択してください。
タブレットPCの厚さ
6 - 13mm → **DTAC-13-330-AB-**-BK-A**
13 - 20mm → **DTAC-20-330-AB-**-BK-A**
- アーム先端部のナイロンコーティングおよびベース部のフッショシールが、タブレットPCへの傷を防止します。

● 用途

工作機械 / 医療機器 / FPD製造装置 / 半導体製造装置 / 梱包機械 / 食品機械

● 仕様

	DTAC-**-330-AB-30-BK-A	DTAC-**-330-AB-40-BK-A
適用アルミフレーム・角シャフト	□30±0.54	□40±0.60
操作ボタン耐用回数*1	20,000回	

*1: 参考値であり、保証値ではありません。

⚠ 使用上の注意

- 垂直軸に取りつけてください。
- **DTAC-AB-A** は上下の取り付け方向が決まっています。上下を逆に取り付けると、**DTAC-AB-A** がアルミフレーム・角シャフトを保持できません。
- **DTAC-AB-A** は摩擦締結を利用した商品です。アルミフレーム・角シャフトに油などが付着し摩擦係数が低下しているときや、衝撃荷重や振動が発生している場合は、最大搭載質量が低下することがあります。
- **DTAC-AB-A** の操作ボタンを押してワークを移動するときには **DTAC-AB-A** またはワークを両手で支えて、操作してください。特に、重量物を搭載している場合は、操作ボタンを押したときに急に落下することがあります。
- アルミフレーム・角シャフトの材質・表面処理によっては、表面に傷がつく可能性があります。
- 過大な負荷が作用した場合、アルミフレーム・角シャフトが傷ついたり、**DTAC-AB-A** が破損する可能性があります。
- 手袋をした状態で操作ボタンを押すと、手袋が操作ボタンとブラケット本体との隙間に挟まり、操作ボタンが戻らず保持できない可能性があります。
- 止めねじは、強くねじ込むと変形します。

● 品番指定 ※価格・納期はNBKウェブサイトをご覧ください。

DTAC-13-330-AB-30-BK-A

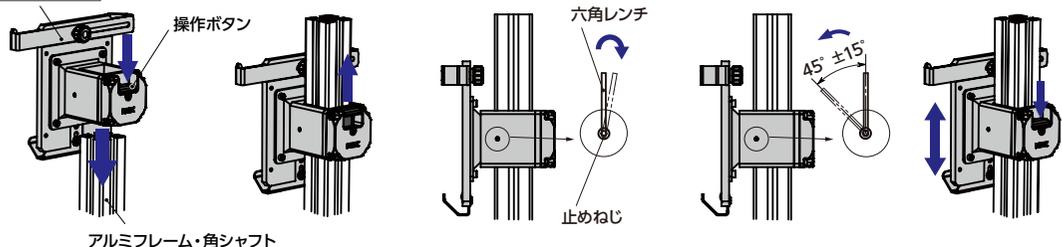
DTAC-AB-A タブレットPCホルダ - クイックポジショニングタイプ - アルミフレーム用 特許出願中

アルミフレーム

● 取り付け

● アルミフレーム・角シャフトへの取り付け方法 (端面から取り付け)

DTAC-AB-A

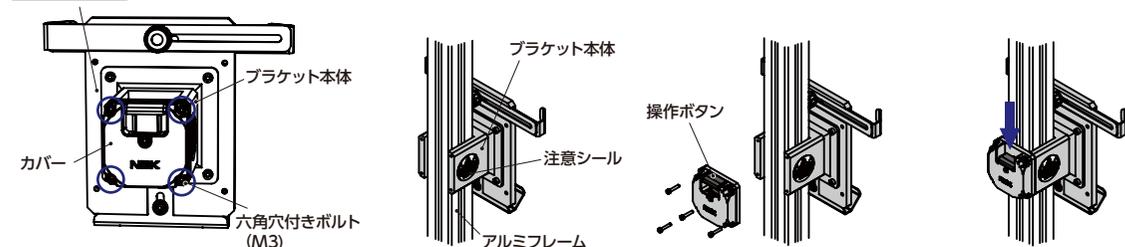


- 1 DTAC-AB-A の操作ボタンを押し、ロックを解除した状態で、アルミフレーム・角シャフトへ挿入します。
- 2 操作ボタンを離すと、DTAC-AB-A が保持されます。
- 3 六角レンチ*1 またはマイナスドライバーで止めねじをアルミフレーム・角シャフトへ軽く押し当てます。
- 4 押し当てた止めねじを $45^\circ \pm 15^\circ$ 緩めます。
- 5 再び操作ボタンを押すことで、DTAC-AB-A を任意の位置に移動できます。

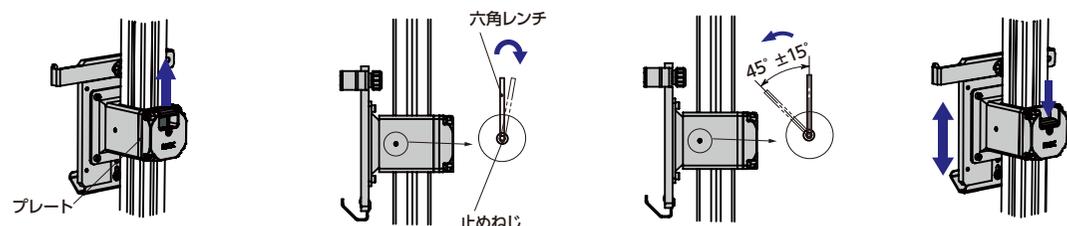
*1: 止めねじの六角穴二面幅の呼びは 1.3mm です。

● アルミフレーム・角シャフトへの取り付け方法 (側面から取り付け)

DTAC-AB-A



- 1 DTAC-AB-A のカバー四隅の六角穴付きボルト×4 を六角レンチで緩め、カバーを外します。
- 2 注意シールの向きに合わせて、アルミフレームへブラケット本体をはめ込みます。
- 3 操作ボタンを上向きにした状態で、カバーをブラケット本体に仮固定します。
- 4 操作ボタンを下まで押し込んだ状態で、カバー四隅の六角穴付きボルトを締めつけます。*1

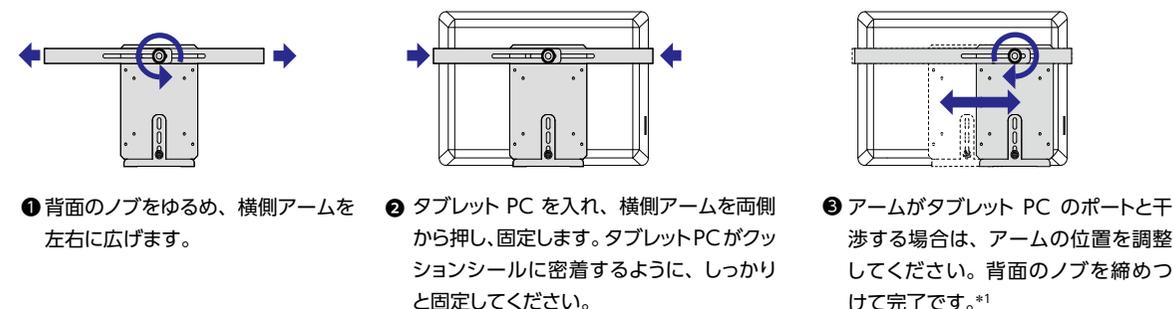


- 5 操作ボタンを離すと、DTAC-AB-A が保持されます。プレートとブラケット本体の間に隙間がないことを確認します。
- 6 六角レンチ*2 またはマイナスドライバーで止めねじをアルミフレーム・角シャフトへ軽く押し当てます。
- 7 押し当てた止めねじを $45^\circ \pm 15^\circ$ 緩めます。
- 8 再び操作ボタンを押すことで、DTAC-AB-A を任意の位置に移動できます。

*1: 参考締めつけトルク: 0.315N・m

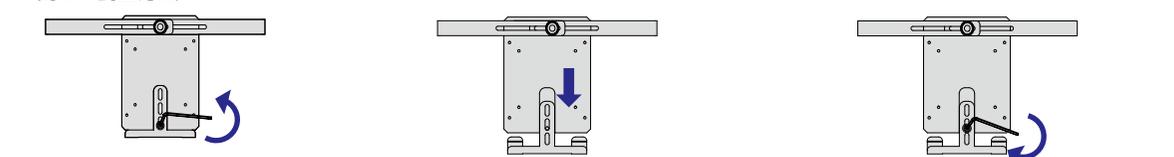
*2: 止めねじの六角穴二面幅の呼びは 1.3mm です。

● タブレットPCの取り付け方法



*1: 締めつけが不十分な場合、タブレットPCが脱落する恐れがあります。

● 高さの調整方法



- 1 下側アーム固定ボルトを六角レンチでゆるめ、取りはずします。
- 2 下側アームをお好みの位置に調整します。
- 3 下側アーム固定ボルトを六角レンチでしっかりと締めつけます。*1

*1: 締めつけが不十分な場合、タブレットPCが脱落する恐れがあります。